

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」における目標及び実績値等について

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上の 課題	教職員の時間外勤 務の是正	時間外在校時間が月45時間を 超える教職員の割合につい て、令和8年度の目標値は0% となっているものの、現状は R3:22.8%、R4:23.5%となっ ており、働き方改革の取組推進 が課題となっている。	・34中学校区に統括的な地域学校協働 活動推進員を配置し、中学校区の学校 応援団活動の企画・立案やボランティア 募集、広報活動、ネットワークづくりを行 う。勤務時間は年間480時間を基本とす る。 ・小学校83校に地域学校協働活動推進 員を配置し、放課後子ども教室の運営 や学校応援団活動の企画・立案を行う。 勤務時間は年間192時間を基本とする。	学校・家庭・地域の役割分担の 明確化により、地域との協働が 進み、教員の業務負担が軽減 する。	月45時間以上の時間外勤 務を行う教員の割合	24	%	0	23.8	1 ・本事業内容について教職員に周知が不足しているため、 研修会等で事業の内容や活動事例を紹介する。 ・消耗品費等の請求回数の上限設定を検討し、文書便への 対応時間の削減につなげる。
②学校と地域の 課題	学校支援ボランテ アの確保・育成	令和6年度を目的に、統括的な 地域学校協働活動推進員につ いては中学校区37グルー ブに、地域学校協働活動推進員 については、全小学校83校に 配置することを目標としてい るが、地域人材の不足等により、 候補者の発掘に苦慮している。	・“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネ ーター養成講座(定員30人)を開催し、人 材の発掘・育成に取り組む。 ・学校関係者対象の学校・地域連携研 修会を開催し、コミュニティ・スクールや 地域学校協働活動の必要性の理解促 進に取り組む。	統括的な地域学校協働活動推 進員及び地域学校協働活動推 進員が配置され、全小中学校に おいて、地域学校協働活動が実 施される。	①統括的な地域学校協働 活動推進員の配置人数 ②地域学校協働活動推進 員の配置人数	①統 括 26 ②推 進員 81	人	①統 括 34 ②推 進員 83	①統 括 34 ②推 進員 83	3 ・“学校・地域 ひとつなぎ”コーディネーター養成講座の修了 生を統括や推進員の就任につなぐことができた。 ・後任の候補者発掘は課題が残ることから、引き続き事業の 理解促進やコーディネーター養成講座を実施する。